

中国留学

2019年8月26日～2019年12月28日

留学参加メンバー

樋口真矢(団長) 松川海斗(副団長) 太田大貴
小野侑朔 樺澤新太 近藤祈 斎藤琴音 坂井亜美
高橋祐貴 田中理子 廣瀬祐大



目次

1. 留学費用 2. 留学先の概要 3. 留学日程 4. 授業について 5.
大学生生活紹介 6. イベント紹介 7. おわりに

1. 現地費用

生活費は20万円から30万円。20万円でも問題なく生活することができる。

2留学先の概要

(1)大学について

北京師範大学は中華人民共和国の北京市に位置する公立大学である。北京大学、清華大学、中国人民大学と北京四大大学に称されている。また100年以上の歴史を持ち多くの学部があり生徒数は22000人以上の学生が在籍している。世界の各国から留学生を受け入れており、これまでに100カ国を超える国から留学生を受け入れている。



(2)大学で行われている教育について

北京師範大学は積極的に留学生を受け入れていて漢語文化学院では一つのクラスで約15人と少人数で構成されているため先生の指導がいきなりやすい。そのため非常に質の高い教育を受けることができた。リスニング、スピーキング、リーディング、中華才芸の授業を受けることができた。中華才芸では太極拳、切り絵、習字などを学んだ。

3. 留学日程

月	日	午前	午後
8月	26日	日本出国	中国到着
	27日	銀行口座開設	Wi-Fi 料金支払い
	28日		携帯電話購入
	29日	クラス分け試験	
	30日	入学式	
9月	1日	クラス分け発表	教科書購入
	2日	授業開始	
	13から15日	中秋節	
	14日	日中交流会	
10月	1から7日	国慶節(授	

		業はなし)	
	31日	中間考査	
11月	1日	中間考査	
	3から8日	黄山文化 考察	
12月	23から24日	期末考査	
	27日		卒業式
	28日	帰国	

4. 授業について

	月	火	水	木	金
1限		リスニング	スピーキン グ		
2限	リスニング	リーディン グ	リーディン グ		リスニング
3限	スピーキン グ			スピーキン グ	
4限	汉语辅导	中華才芸		リーディン グ	
5限					

●授業内容

会話

先生が教科書の単語を例文とともに解説し、その後生徒が例文を作る。間違っただ箇所は随時先生が指摘してくれる。また発音も丁寧に指導してくれる。また、週末に宿題としてパワーポイントを作って一人一人が発表を行う。

聴力

CDを聞いてその文章をCDの後に続けて発音をする。その後先生が聞き取った内容を一人一人に質問する。その時に発音なども指導してくれる。だから自分が聞き取れた単語と聞き取れない単語を区別できる。宿題として新出単語の意味調べが出される。

读写

教科書の本文のピンインを見ないで音読をし、間違った箇所を先生が随時指摘をしてくれる。新出単語や文法を使って例文を作り、発表する。先生がパワーポイントを使って文法を説明してくれる。その文法を使って文を作る宿題が毎回出された。だいたい三週間に一回のペースで300字の作文が出されお題は毎回違っていた。また、単語の小テストもたびたびあった。

汉语辅导

授業で理解できなかったところを先生に自由に質問できる。

中華才芸

太極拳、習字、切り絵を学んだ。留学期間の中で授業が変わっていった。中国の文化を学ぶことができた。習字、切り絵は最終回に作品を提出した。

5. 大学生活紹介

●学生寮

私たちが住んでいた新松公寓は、2人1部屋、シャワー、トイレ、机、椅子、ベッド、冷蔵庫、テレビ、冷暖房、電気ケトルが備え付けられている。また、共同のキッチン、洗濯機、売店なども完備されている。売店は朝7時から深夜0時まで営業しており、プリントのコピーや印刷もできる。毎日寮の管理人さんがごみの回収をしてくれるため、不自由なく暮らすことができる。また、教室棟まで徒歩3分と近く、とても便利である。

●食堂

学内にはいくつもの学食、軽食を売っている売店がいくつもあり、とても便利であった。学食のほとんどが学生カードで支払うことになる。学内で食べられるご飯は、どれも安くおいしいものばかりであった。中国料理だけでなく、様々な国の食べ物や、季節限定のものもあるので、食事が楽しみであった。また、軽食やスムージーなど手軽に食べられるお店も多い。



● 買い物

食品(朝食用のパンなど)や飲み物は学内にあるスーパーで買うことが多かった。その他の衣服や雑貨などは、もちろんモールなどでも買えるが、日本とあまり値段が変わらない。そこで、“淘宝”という中国で大人気のネットショッピングを利用することが多かった。数多くの商品が揃えてあり、安価である。商品の到着も早いので、アプリのダウンロードを早めにするをお勧めする。

● 電圧

電圧は日本よりも高い 220V(日本は 100V)だが、パソコンやスマートフォンを充電する際には、日本のもので大丈夫であった。だが、ヘアドライヤー、ヘアアイロンなどは電圧が違うことがあるので、変圧器を買うか、海外対応のものを持っていく必要がある。しかし、荷物がかさばってしまうので、こだわりのないようであれば、中国で買うことをお勧めする。学内にも、学外にも安く手軽に売っている。

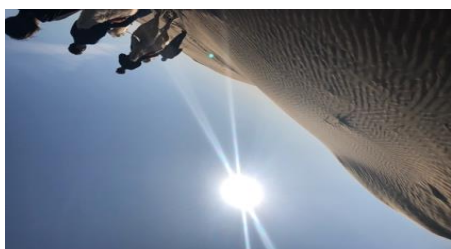
● 電子マネー

現在、中国のほとんどがキャッシュレスになっている。現金を使うのは携帯を契約するまでの期間だけであった。電子マネーを利用するためには、中国に銀行口座を作り、スマートフォンと連結させる必要がある。電子マネーはとても便利で、普段の買い物だけでなく、ネットショッピングや、割り勘もスムーズに行うことができた。

6. イベント紹介

●内モンゴル旅行

日本語ガイド付きの2泊3日の内モンゴルツアーに参加した。参加は希望制で、希望者は1100円を支払う。夜行バスに乗って北京から内モンゴルまで移動した。10月上旬ではあったが、北京より北に位置しているため、かなり寒い。また、ラクダや馬に長時間乗ったり、砂漠へ行ったりするので、温かいダウンコートを着ていくことをお勧めする。他にも博物館へ行ったり、ゲルに泊まったり、砂漠でのアトラクションなど様々なイベントがあり、とても良い経験になった。



●バドミントン大会

校内の留学生が対象のバドミントン大会。多くの留学生と交流することができる。また、この大会で勝ち上がると、北京市内の大学生が集まる国際バドミントン大会にも出場することができる。留学生だけでなく、中国人の生徒がメインの大会もあるので、ランゲージパートナーを作ることも可能。また、バドミントンだけでなく、バスケットボールや卓球なども似たような大会があった。スポーツを通じて、多くの学生と交流を持つ良い機会になるので、参加をお勧めする。

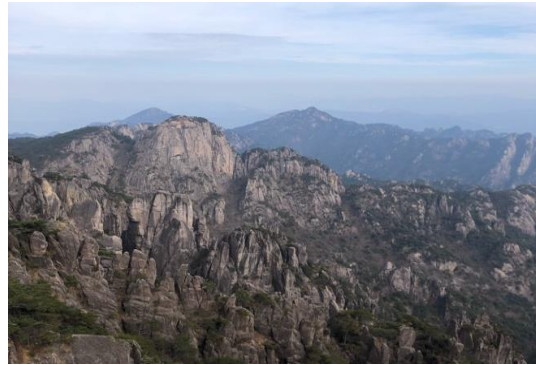


● 安徽語学実習

11月3日～8日まで安徽というところに、語学実習に参加した。バスガイドや、英語を話せるガイドさんがついてきてくれる。安徽は中国の北東部に位置する内陸省で、その歴史は350年以上である。様々な観光地を回ることができた。その中で訪れた観光地をいくつか紹介する。

i) 黄山

「黄山を見ずして、山を見たというなかれ。」ということわざが有名であり、中国最上級に美しい山とされている。風景区の面積は154 km²で、最高峰は1860mにも及ぶことから、仙人が住む山と言われてきた。古代から、数多くの著名人が訪れ、毎年多くの観光客が足を運んでいる。また、1990年にはユネスコ世界遺産、2018年にはユネスコ生物圏保護区にも指定されている。



ii) 胡氏宗祠

胡氏宗祠は明代に建てられ、すでに 500 年近くの歴史がある。私たちが行ったところは、徽州建築という独特な建築方法が見られるところであった。中国ではここでしか見ることができないため、毎年多くの観光客が訪れる。さらに、ここでは木彫や石像が綺麗だと有名で、建築を華やかにするものとして、これらが直接建物に彫られていた。



7. おわりに

留学中は、毎日が本当に楽しかった。日々の授業で新しいことを学び、多くの留学生と交流して、本当に刺激的だった。休日は友人と北京の名所を回ったり、他の国の留学生たちとスポーツをしたりと、アクティブに行動し、交流の輪を広げることができた。最初は分からないことも多く、言葉以外にも不安を感じることもある。しかし、多くの人

と話すことによって、普段使われている中国語が身につくようになり、異文化を理解することに繋がった。

今思えば、中国に留学していた4か月間は、本当にあつという間だった。しかし、その4か月間が今までの人生で1番濃くて、1番充実していた。しかし、こんなにもいい思い出になったのは、いつも近くで支えてくれた友人や、留学を応援してくれた家族のおかげだと心から思う。留学に来て、改めて対人関係の大切さを学ぶことができた。

これから中国留学を考えている学生の中に、不安を抱えている人もいるだろう。しかし、こんなに素晴らしい留学の経験ができるのは人生でそう多くない。たった4ヶ月と思うかもしれないが、この4ヶ月で大きな成長をし、素晴らしい経験を積むのは間違いない。少しでも意欲があるのであれば、留学に参加することを勧める。